

入院分娩・母乳育児相談

とも子助産院

2010年のできごと



5月に開業10周年のお祝いをしました。スタッフ手作りの横断幕に祝福されて、幸せな気持ちでした。

1月から初産婦さんのお産を扱い始めました。やはり、予定日を過ぎてても陣痛が始まらなかったり、お産が長引いて病院にお願いするというケースがこれまで以上に増えました。その都度、病院スタッフには温かくバックアップしていただき本当にありがたかったです。妊娠した女性から母への成長ぶりは、まぶしいばかりに美しく、お産っていいなあ、赤ちゃんはすごい。上の子と一緒にベテラン経産婦さんのお産も楽しいものですが、初めての赤ちゃんを迎えて製作りに励み、だんだんと母親になっていく初産婦さんに伴走するというのも、助産師心がおどります。

助産師 伊藤朋子

〒981-3124

仙台市泉区野村字野村95-6

TEL 022-772-5960

メール tomo@tomo-j.jp



今年のはまりものは、マトリョーシカ人形。ロシアの民芸品です。ファンシー小物からシールまで、目につくとなんだか、つい欲しくなってしまう。

熊谷助産師に、マトちゃんイラストを描いてもらい、助産院オリジナルのスタッフエプロンも発注しました。

6月、腹腔鏡で片卵巣切除の手術を受けました。長年のお友達だったチョコレートのう腫とサヨナラしました。痛がりさんなので、術後はヒヒフーと呼吸してみたり、姿勢を工夫してみたり、いろいろ試しましたが結局「痛い痛い！」と訴え、ナースコールを押しまくり痛み止めをもらいました。鍼灸師の資格があるという夜勤の病棟スタッフがしてくれた、ツボ療法はピシッと効く〜という感じで、とてもよかったです。今となっては三段腹に隠れてしまった小さな傷跡ですが、何時間も陣痛と戦う産婦さんはなんてエライ、とあらためて思ったのでした。電話とテレビのない生活が、なんだか嬉しい1週間の入院生活。検査食で体重は4kg減。しめしめと思いきや、退院後にはすみやかにV字回復・・・。

8月には分娩制限をして、念願の夏休みをとりました。分娩待機フリーの数日間は、携帯の電波状態を気にせず遊びまわりました。夫の夏休みの時期とずれてしまったのが残念でした。100年ぶりという、これまた暑い暑い夏でした。

まずは、小学生の甥っ子たちと八景島シーパラダイスのシロイルカに会いにいきました。パフッと上手に空気の輪がつくれるんですね。「あはは！」って笑う人マネも。賢いっ！そのあと、秋田の妹達と男鹿マリーナで花火大会を眺め、おいしいビールをゆっくり飲み、のんびりリフレッシュできました。

10年もお産待機をやっていると、なんとなく電話が鳴りそうな気配まで察知できるようになってきます。イマドキの女子高生並みに、携帯電話は肌身離さず持ち歩く。ケイタイ命。ところがトイレやお風呂に置き忘れ、ケイタイちゃんが一人さびしく着信ランプをピカピカ・・・ハッと気づいて冷や汗たたり・・・ということが年に数回。エプロンのポケットに入れたまま洗濯してしまったこともありました。(そんな時のために、産婦さんには複数の助産師連絡先をお知らせできるようになり、ちょっと安心。)

「体内埋め込み式とか、絶対置き忘れのないケイタイが欲しい！」と言ったら、お料理チームの小山さんが、カチューシャ型のケイタイを考案してくれました。こんなのでしょうか？どなたか、商品化してくださいな。





伊藤朋子



近藤



原田



山口



佐藤



早坂

外来担当の助産師

近藤：ヨガ・妊婦サロン担当、感染対策委員、原田：妊ゴス担当・安全管理委員、山口：助産院カ
イロ・ライトスノー院長と兼任・骨盤体操クラス主催、佐藤：ふれあいマッサージの会担当・国
際認定ラクテーションコンサルタント、早坂：学生指導担当。外来に出ている上記6人のほか、クラスやお
産のサポートを担当する非常勤助産師や、森のおひさま助産院・この助産院と協力合っています。

助産師スタッフ充実中

副院長として活躍してくれていた中村助産師が、この8月末で退職となりました。代わって原田・
近藤助産師が、仙台市委託の新生児訪問指導員を卒業し助産院専従となりました。中村さん退職直後
は「どうなる事か・・・」と心配でしたが、山口・佐藤・早坂も加わり、一層賑やかです。さらに春からは1名の助産師の仲間入りが内定していま
す。当助産院初の独身助産師。若い力に期待しています。伊藤&中村の助産院から、みんなで担う助産院に変身中です。

中村助産師は、家庭の事情によりお産の現場からは一時撤退しました。でもライフステージにあわせて、いろいろな働き方ができるのも助産師
業ならではの、出張専門の開業助産師として、母乳育児支援の仕事を続けています。新しくなった「みやぎ
ぎ開業助産師マップ」をパソコンで検索してください。元気です。

嘱託医の先生方や病院のスタッフに支えられ、家事チーム・事務チームの協力で、心地よく助産院が
回っています。かかわる人数は増えてきましたが、とも子マインドは同じです。これからもお母さんたち

が、産婆のとも子さんちに遊びに来る感覚で気軽に足を
運んでくれたらうれしいです。うちでお産する妊婦さん
は、みんな私の妹か姪っ子のような気持ちです。ずいぶん
と親戚が増えちゃいましたが、うちの赤ちゃんたちは元気
かなあ・・・といつも、気にかかります。

皆様、これからも見守ってください。



看護・助産の学生さんたち200人以上が、見
学実習に訪れました。皆さん病院との違いに
びっくりされます。生活者としての妊産婦さん
を支援するというのを、伝えたいなあと思っ
ています。

地域で働く助産師が、いっぱいになって、い
つの日か、中学校学区に1軒くらいの割合で、
助産院ができるといいなあ。

2011年にチャレンジ!



携帯用ホームページでも、
イベント案内や、ブログが
見やすくなりました。

イベント申込は、こちらか
らも、どうぞ。



「助産師と楽しむヨガクラス」では、マタニティーベリーダンスを取り入れることになり
ました。ご安産と産後のくびれが、手に入るかも。「妊婦ゴスペル隊」は、6月4日(土)
に青年文化センターでの発表会を計画中。初産婦さん向けに「妊婦サロン」、助産院のご飯
を楽しみたい方のための「助産院ランチ会」、助産院って興味あるけど妊婦じゃなし・・・と
いう方のために「だれでも見学会」、ベビータッチングが大盛況なので、上のお子さんやご
夫婦のためのマッサージ講座として「家族力アップのための、ふれあいマッサージの会」な
どなど、助産院で産む人も、そうでない人も楽しめる新しい企画を、いろいろ考え中。ス
タッフみんなの持ち味を活かして、ますます盛り上がっていきたいなあと思います。



おだやかで、平和な年となりますように。
皆様のご健康とご多幸をお祈りします。

